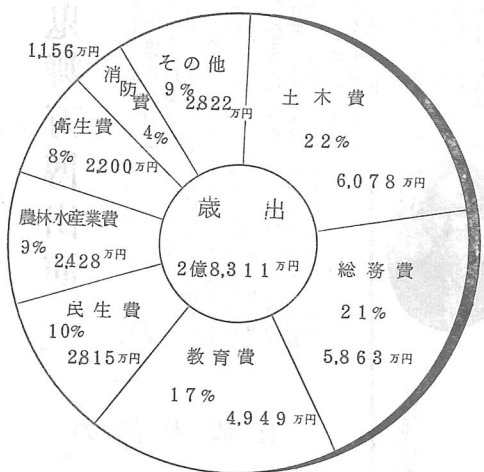
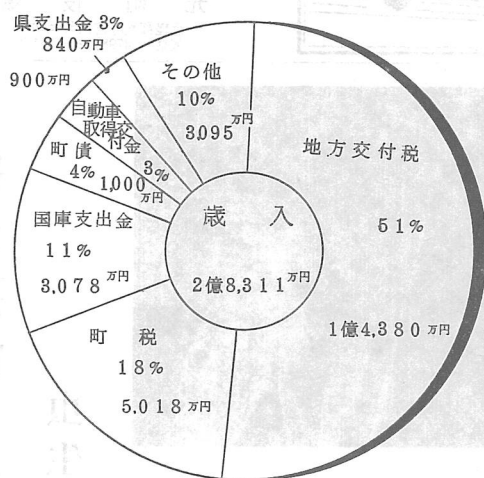


予算の内訳



昭和四十三年度決算は、去る十二月の議会定例会で認定されました。役場の収支も、みなさんの家庭と同じように、入金と使う金の年間計画を作りまします。これを当初予算といつて四月から始めます。しかし、これだけでは足りず、正予算がつくれません。そこで補正予算がつくれます。四十三年度一般会計の当初予算は、一億八千五百二十万円でしたが、これに八回も補正して総額二億三千四百四十九万となりました。

歳入 2億3,149万円

(単位: 万円)

項目	金額	割合
地方交付税	1億0,098	(43.6%)
町税	4,613	(19.8%)
国庫支出金	3,708	(15.9%)
財産収入	1,548	(6.6%)
その他	3,182	(1.4%)

歳出 2億2,157万円

項目	金額	割合
人件各費	7,315	(33%)
普通建設事業	5,690	(25.6%)
補助費	3,209	(14.4%)
物件費	2,900	(13%)
その他	3,043	(16%)

新年度予算

総額四億八千万円を突破

昭和四十五年度予算

- ◇ さる三月の議会定例会は、四十五年度一般会計と特別会計予算案は、十六件の町長提出案をいづれも原案どおり可決、このあと議員提出により「町議会議員の定数を減少する条例の一部を改正する条例」をつくり、議会議員の数をいまの二十二から十八に減らすことに決まりました。
- ◇ 新年度予算は、引き続き「産業」「教育」の振興並びに保健衛生等を重点とし住民の生活の場を整備し、より良い町づくり、地域づくりのための事業を通して住民サービスの向上をねらいとしています。

四十五年度主な事業計画

- ・町営住宅建設事業 二、七六〇万円
- ・南条小学校屋内体育館建設事業 一、二四〇万円
- ・町道改良舗装事業 一、一四〇万円
- ・児童遊園地建設事業 八〇万円
- ・防火水槽建設事業 七五万円
- ・有線自動化改修工事 三、七二九万円
- ・町発展のための重要な施策でありますので、事業執行につきましては万全を期して行きます。

(単位: 万円)

一般会計	2億8,311
国保	1億0,297
と場	4,692
有線	4,955
合計	4億8,095

税金はどう使われたか 43年度町の台所

昭和43年主な事業

(単位: 万円)

事業名	金額
青年館建設 (台、原方、白磯)	616
遊園地建設 (入、台)	80
農免道路事業	1,569
日吉小屋内体育館建設	935
東陽小学校舎増築工事	200
白浜小学校プール建設	580

特別会計決算額

(単位: 万円)

会計別	歳入	歳出	差引額
国保特別会計	7,730	7,106	624
と場特別会計	11,622	11,294	328
有線放送特別会計	918	824	94

・歳入
総額は、二億三千四百四十九万円で地方交付税、国庫の支出金等が、一億五千六百二十五万円と全体の六十八パーセントをしめ町税、財産収入等はわずかに三十二パーセントと町の苦しかった台所を見るとがでます。

・歳出
三割を占める人件各費を除いては、道路新設改良費、学校プールの建設費等建設事業費が主な使途であり、合計二億二千五百五十七万円となります。